

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者住宅等安心確保事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携および各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。また、毎年1回、高齢者住宅等安心確保連絡協議会を開催し、生活援助員の質の向上に努めている。				
5年度の概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	シルバーハウジングの入居者
意図（どのような状態にしたいか）	シルバーハウジングの入居者が、自立して安全かつ快適な生活を営むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
生活援助員勤務日数	日	984	980	968	892	892

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	生活援助員への相談件数	件	目標値	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
			実績値	5,739	4,857	5,472		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 生活援助員による入居者への生活相談等を実施することにより、入居高齢者の安心を確保することができた。 (目標達成度)						(達成度) 84.2%	29点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	20,350	20,447	20,346	20,464
（事業費）	[千円]	8,379	8,367	8,372	8,490
（職員人件費）	[千円]	11,971	12,080	11,974	11,974

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

高齢者世話付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域包括ケアの観点から、高齢者の住宅を確保し、生活を支援する必要があるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	軽費老人ホーム事務費補助事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費とし、社会福祉法人にその一部を補助する。				
5年度概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費とし、社会福祉法人にその一部を補助する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


【事業の目的】

対象（何を）	軽費老人ホームの入所者及び入所希望者
意図（どのような状態にしたいか）	自立した日常生活を営むことについて不安を抱える高齢者が、収入に応じた低額な料金で、施設を利用できるようにすること。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補助金を交付した施設数	施設	12	12	12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	入所者実数	人	目標値	536	536	536	536	536
			実績値	509	506	507		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 軽費老人ホームを運営している全施設に対して補助金を交付することにより、入所者が収入に応じた低額な料金で施設を利用できたことなどから、目標を概ね達成できた。 							（達成度） 94.6% 33点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	218,559	212,605	211,329	225,891
（事業費）	[千円]	206,588	200,525	199,355	213,917
（職員人件費）	[千円]	11,971	12,080	11,974	11,974

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
運営補助については、他自治体の動向等を勘案しながら適切な水準を維持し、効果的な事業の実施に努める。			

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	老人福祉施設整備支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
	5年度概要	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備		

【事業の目的】

対象(何を)	老人福祉施設を設置する社会福祉法人
意図(どのような状態にしたいか)	老人福祉施設の整備を促進し、入所者の生活環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
補助金を交付した社会福祉法人数	法人	15	10	5	6	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
		補助金を交付した老人福祉施設数	施設	目標値	18	11	6	6
			実績値	18	11	5	6	11
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	対象とする社会福祉法人からの申請を受け、適切に事務処理を行い、補助金を交付したことから、目標を達成できた。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							29点

【コストの推移】

指標名	単位	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
トータルコスト	[円]	328,201	66,910	14,862	222,941
(事業費)	[円]	315,482	54,075	2,139	210,218
(職員人件費)	[円]	12,719	12,835	12,723	12,723

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

老人福祉施設整備に要する費用について、社会福祉法人に対し、補助金及び利子補給金を交付することにより、老人福祉施設の整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

(1) 平成15年4月1日に社会福祉法人助成条例施行規則を改正し、新規事業分については廃止しており、償還が終了する予定の令和6年度に、本事業のうち利子に対する補助は廃止となる見込みである。  
(2) 高齢者保健福祉計画に沿った施設整備を進めるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。